

## 城南信用金庫・川本恭治理事長とのトップ対談

■とき：令和5年9月6日(水)

■ところ：城南信用金庫本店

### まだまだ厳しい地元企業の本業を支援する

**松本** 本日はおよそ2年ぶりの対談となります。前回の対談はコロナ禍の時期でしたが、今回はコロナも明け、改めて有意義な情報交換ができればと思います。

**川本** まず当金庫の最近のトピックスとして、グレートカンパニーアワード（船井総合研究所主宰）においてグレートカンパニー大賞を受賞しました。これは、持続的成長企業であり、熱狂的ファン（顧客）を持ち、従業員の満足度が高いなど五つの要件を満たしたことが評価されて受賞に至りました。当金庫では「困っている人を助けることが信用金庫の使命」という創立以来の理念のもと、単にお金を貸すだけの関係ではなく、取引先の困りごとへの相談にのり、本業に結び付く支援を徹底的に行っています。コロナ禍の3年間においても22回にわたり、お客様の本業についてヒアリングを行い、そ

の結果を計数化してきました。このデータは金庫内の情報共有に留まらず、マスコミにも公表し政府の経済市況の判断材料にもお役立っていただいています。

**松本** この3年間のコロナ禍の影響でゼロゼロ融資もかなり多かったですでしょうか、お客様の状況はいかがですか。

**川本** 当金庫では累計1万381社におよそ3572億円のゼロゼロ融資を実施しました。その内約85%のお客様で返済が進んでいる状況です。一方新規の融資についてはゼロゼロ融資返済の影響もあり減少すると予想していましたが、実際は横ばいとなりました。これはコロナ禍前には想像もつかなかった原材料やエネルギー価格の高騰、人材不足による売上げの低迷等により、経営状況が改善せずに資金繰りにも苦労されているケースが多かったことが要因だと捉えています。

**齊藤** また過去3年間で取引先での月間倒産平均件数も増えてきており、残念

ながら当金庫でも代位弁済の対応を取らざるを得ないケースが見られます。こうした点からも当金庫のお取引先を含め中小企業への厳しい経営環境が伺えます。

### TKC会員なら安心して融資先を紹介

**松本** 本年4月から金融庁の監督指針が改正され、経営者保証ガイドライン改革プログラムが出されました。城南信用金庫さんのご対応はいかがでしょう。

**川本** 個人保証に依らない融資の実行割合は年々増加してきています。特に本年4月の金融庁による監督指針の改正以降も相当数の割合で実行してきています。しかしながら中小企業の多くの方は法人

#### 出席者（敬称略）

##### ■城南信用金庫

理事長 川本恭治  
専務理事 齊藤任弘  
常勤理事融資部長 長野賢史  
融資部融資企画課長 高尾 享

##### ■TKC出席者

全国会副会長 松本憲二  
東京中央会会長 菅川 洋  
東京中央会中小企業支援委員長 温井徳子  
東京都心会顧問（前会長） 大石尚彦  
神奈川会会長 桐澤寛興  
TKC首都圏統括センター長 角能一徹



川本理事長（右から4人目）から右へ桐澤会長、温井委員長、斉藤専務理事。左へ松本全国会副会長、菅川会長、大石顧問、長野常勤理事

個人の一体化の認識で経営している方も多いのも現状です。やはり経営者の方には個人との区分けを明確にし、本業に真剣に取り組んでほしいと願っています。いわゆる経営者保証ガイドラインの3要件を満たしていない事業者に対して安易に経営者保証を外すことは難しいと考えています。

**松本** 一律に経営者保証を外してもらえないものと誤解している経営者も多いようです。城南信用金庫さんのスタンスは参

考になり、我々の顧問先経営者の経営に對する意識付けにも繋がると思っています。

**川本** いま懸念しているのは、粉飾決算による倒産です。当金庫でも倒産企業の大半が粉飾決算によるものです。前述の3要件の一つ「適時適切な情報開示」をきちんと実践していれば金融機関も粉飾決算を見抜けないことはないのですがその体制構築が難しい。そこで外部専門家である税理士の皆様の協力、支援が重要となります。

加えて大切なのは「情報の非対称性」の解消です。その点、TKC会員の皆さまが真摯に取り組まれている税理士法による書面添付を有効活用すれば、3要件の一つである個人と法人の区分が明確となります。

我々としてもTKC会員の皆さま、とりわけ書面添付に熱心に取り組まれている会員事務所であれば、安心して融資先企業をご紹介させていただきます。TKC会員事務所を紹介したいと経営者にお伝えして、もし難色を示すようであれば粉飾決算を疑ってみる必要もあるかもしれませんが。皆さまには今後も書面添付にしっかり取り組んでいただきたいと思えますし、当金庫としても広めていきたいと考えています。

## 支店単位で「顔が見える関係」の連携を深めよう

**松本** TKCが提供している「TKCモニタリング情報サービス(MIS)」では決算書だけでなく、月次の試算表もタイムリーに提供できます。この内容もぜひお客様の本業支援の参考にご活用願えればありがたいです。

**温井** 現在TKCでは全国の金融機関の特に若手の行職員さん向けに「決算書の信頼性の見極め方」に関する研修を実施しています。決算書を実際に作成している我々税理士の目から、決算書の信頼性に関して講義しております。

**長野** ぜひ当金庫にもお願いしたいと思えます。特に営業店のエリアごとに、支店職員の「顔が見える関係」で実施してもらえると大変助かります。

**菅川** ありがとうございます。研修では講義だけでなく、皆さんが日頃お客様との対応で困っていることや疑問に感じていることなども伺いし、解消できる機会となればと思います。

**松本** 本日は、川本理事長の粉飾決算の排除に向けての非常に強い意気込みを感じました。今後も、TKC会員の取り組みをお役立ていただければ幸いです。

(TKC東京中央会事務局長 宮川隆嗣)